

国境なき医師団日本 「緊急チーム」 募金 支援実績（2025 年）

2026 年 7 月

国境なき医師団日本「緊急チーム」募金に 2025 年 12月31日までに入金が確認された寄付は合計 13,944 件、312,683,484 円となり、以下の緊急援助活動に配分されました。

●活動国・地域別 支援額内訳（2025 年）

活動国・地域	「緊急チーム」募金 支援金額	活動内容
パレスチナ	94,000,000 円	ガザ地区南部のナセル病院をはじめとする診療所で外来診療や創傷ケア、理学療法などを提供。医療従事者のトレーニングなども行った。重症患者 101 人をヨルダンやアラブ首長国連邦などの第三国へ医療搬送を支援した。
コンゴ民主共和国	93,683,484 円	武力紛争の激化により避難民の増加が続く南キブ州ブニャキリ保健区において、緊急援助を実施。医療施設 6 カ所を支援し、救急医療や産科・小児科医療、性暴力被害者のケア、紛争負傷者への治療を提供した。
フィリピン	50,000,000 円	結核罹患率が全国平均の約5倍に達するマニラ市トンド地区で、約 1 万人にスクリーニングを実施し、結核患者の早期発見や診断、治療につなげた。また、9 月に発生したセブ地震の被災地では、8,500 世帯に衛生キット、6,500 世帯に安全な飲料水を配布した。
シリア	30,000,000 円	2024 年 12 月のアサド政権崩壊後、長年人道援助が届きにくかった首都ダマスカス南西部のダラヤで、基礎診療所の運営を支援。外来診療や心のケアを含む基礎的な医療を提供するとともに、24 時間体制の救急治療室を開設した。
ハイチ	30,000,000 円	武装集団による暴力が続く首都ポルトープランスで、特に被害が大きいシテ・ソレイユからカルフルにかけて、移動診療を展開した。あわせて、保健センターを通じて、プライマリ・ヘルスケア、妊産婦ケア、性暴力被害者への支援を行った。

アフガニスタン	15,000,000 円	北部バルフ州マザリシャリフ地域の病院で、はしかの流行に対応。6,000 人以上の外来・入院患者を受け入れ、症例管理や感染予防対策を実施した。また、医薬品や酸素・感染予防資材の提供をするとともに、予防接種の促進にも取り組んだ。
---------	--------------	--

※緊急援助活動には、「緊急チーム」募金に他の寄付を加えた金額を日本からの支援金として送っています。支援金の総額は、国境なき医師団日本『活動報告書 2025 年度版』の財務報告をご参照ください。

<https://www.msf.or.jp/publication/annualreport/>